

東海国立大学機構

岐阜大学

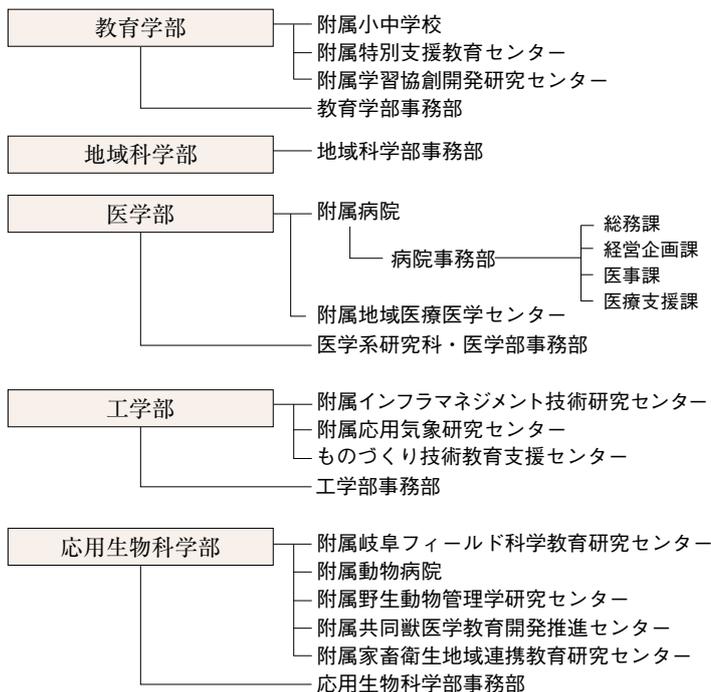
名古屋大学

学長

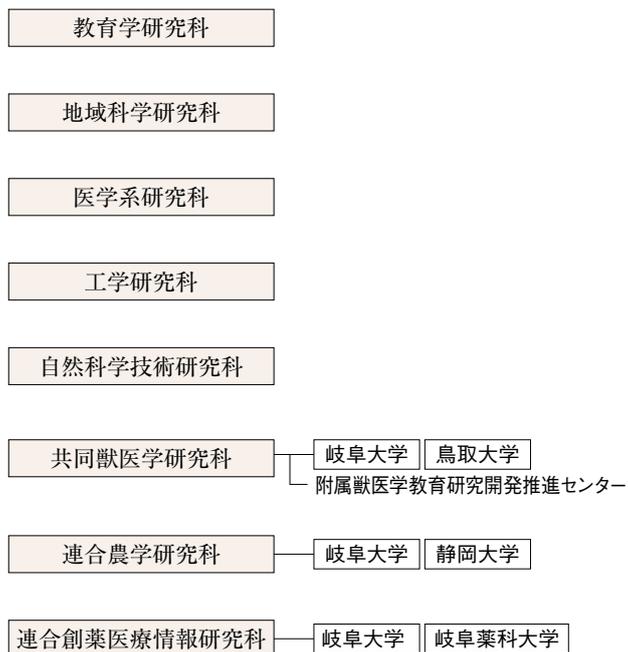
副学長

■教育研究組織・学部等事務組織

学部



大学院



高等研究院

地域協学センター

流域圏科学研究センター

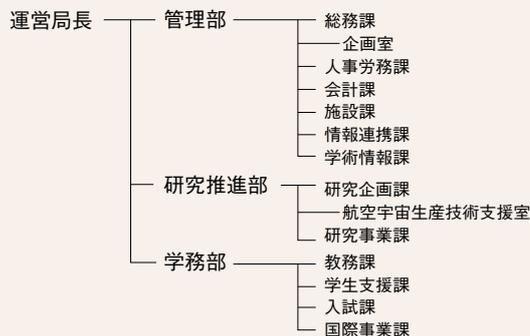
保健管理センター

医学教育共同利用拠点  
医学教育開発研究センター

■運営支援組織



■運営局事務組織



## ■ 学部

教育学部 1 課程 12 講座	学校教育教員養成課程	講座	国語教育, 社会科教育, 数学教育, 理科教育, 音楽教育, 美術教育, 保健体育, 技術教育, 家政教育, 英語教育, 学校教育, 特別支援教育
		附属施設	附属特別支援教育センター
			附属学習協創開発研究センター 附属小中学校

地域科学部 2 学科 4 講座	地域政策学科	講座	地域政策, 地域環境
	地域文化学科		地域文化, 地域構造

医学部 2 学科	医学科	学科目	人体構造学, 神経構造機能学, 分子医学, 生体機能学, 病原体学, 薬理・中毒学, 病理学, 地域・産業保健学, 循環器・呼吸器・腎尿路学, 消化器・検査・血液腫瘍学, 内分泌代謝学, 脳神経学, 精神・行動学, 成育学, 生命倫理・法医学, 臨床遺伝・臨床倫理, 皮膚科学, 免疫応答学, 感覚器医学, 運動器学, 麻酔疼痛制御・救急災害, 画像診断・放射線治療
	看護学科	講座	基礎看護学, 母子看護学, 成人看護学, 地域健康援助学
		附属施設	附属病院 附属地域医療医学センター

工学部 4 学科 9 コース	社会基盤工学科	コース	環境, 防災
	機械工学科		機械, 知能機械
	化学・生命工学科		物質化学, 生命化学
	電気電子・情報工学科		電気電子, 情報, 応用物理
		附属施設	附属インフラマネジメント技術研究センター 附属応用気象研究センター ものづくり技術教育支援センター
		共同研究講座	スマートグリッド電力制御工学共同研究講座

応用生物科学部 2 課程 1 学科	応用生命科学課程	コース	分子生命科学, 食品生命科学
	生産環境科学課程		応用植物科学, 応用動物科学, 環境生態科学
	共同獣医学科		
		附属施設	附属岐阜フィールド科学教育研究センター 附属動物病院 附属野生動物管理学研究センター 《寄附研究部門：鳥獣対策研究部門（岐阜県）》
			附属共同獣医学教育開発推進センター
	附属家畜衛生地域連携教育研究センター		



教育学部



地域科学部



医学部 / 同附属病院



工学部 / 応用生物科学部

## ■ 大学院

教育学研究科	学位課程	専攻実践開発専攻	コース	学校管理職養成, 教育実践開発			
	修士課程	心理発達支援専攻	コース	臨床心理学, 学校心理学, 特別支援教育			
		総合教科教育専攻		言語社会, サイエンス, 芸術身体表現, カリキュラム開発			
地域科学研究科	修士課程	地域政策専攻	領域	経済社会, 行政社会, 自然環境			
		地域文化専攻		社会生活, 人間文化			
医学系研究科	博士課程	医科学専攻	講座	分子・構造学	細胞情報学, 薬理病態学, 病原体制御学, 寄生虫学・感染学, 遺伝発生学, 内分泌代謝病態学, 小児病態学, 病態情報解析医学		
				病態制御学	解剖学, 分子病態学, 生命機能分子設計, 循環病態学, 呼吸病態学, 高度先進外科学, 整形外科学, 皮膚病態学, 泌尿器科学, 麻酔・疼痛制御学, 口腔病態学		
				神経統御学	分野	高次神経形態学, 生理学, 組織・器官形成, 神経生物, 脳神経内科学, 精神病理学, 脳神経外科学, 耳鼻咽喉科学, 眼科学, 脳病態解析学	
				腫瘍制御学	腫瘍病理学, 形態機能病理学, 腫瘍外科学, 消化器病態学, 血液病態学, 産科婦人科学, 放射線医学, 疫学・予防医学, 臨床腫瘍学		
				医療管理学	医療情報学, 総合病態内科学, 臨床薬理学, 医療経済学, 救急・災害医学, 法医学, 医学系倫理・社会医学, 産業衛生学, 医学教育学		
	修士課程	看護学専攻	領域	看護学教育	継続看護学教育	看護学教育, 生体システム学	
実践看護学	分野	母子看護学		母性看護学, 小児看護学			
		成人看護学		急性期看護学, 慢性期看護学			
		地域健康援助学		地域看護学, 精神看護学, 老年看護学			
修士課程	医療者教育学専攻	領域	医療者能力開発学, 医療者教育プログラム開発学, 医療系倫理・社会医学教育学, 総合病態内科学, 地域医療教育学, 医師育成学				
寄附講座	循環呼吸先端医学講座(岐阜県厚生農業協同組合連合会), 地域腫瘍学講座(岐阜県厚生農業協同組合連合会), がん先端医療開発学講座(株式会社ヤクルト本社), 地域医療運動器医学講座(関ヶ原町), 関節再建外科学先端医療講座(京セラ株式会社, ジンマー・バイオメット合同会社), 先端画像開発講座(岐阜県厚生農業協同組合連合会, 社会医療法人厚生会, 岐阜県総合医療センター), 周術期女性医師活躍支援講座(岐阜県厚生農業協同組合連合会), 低侵襲・がん集学的治療学講座(岐阜県厚生農業協同組合連合会, 小野薬品工業株式会社, 中外製薬株式会社), 地域医療放射線医学講座(高山赤十字病院)						
	共同研究講座	ファージバイオロジクス研究講座(アステラス製薬株式会社)					
工学研究科	博士課程	工学専攻		岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携統合機械工学専攻			
		岐阜大学・マレーシア国民大学国際連携材料科学工学専攻					
自然科学技術研究科	修士課程	生命科学・化学専攻	領域	生命工学創薬, 生命工学化学, 分子生命科学, 食品生命科学			
		生物生産環境科学専攻		応用植物科学, 応用動物科学, 環境生態科学			
		環境社会基盤工学専攻		環境, 防災			
		物質・ものづくり工学専攻		物質化学, 設計生産			
		知能理工学専攻		知能機械, 知能情報学, 応用数学物理			
		エネルギー工学専攻		エネルギー変換, 電気エネルギー			
岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻							
共同獣医学研究科	博士課程	共同獣医学専攻	講座	基礎獣医学, 病態・応用獣医学, 臨床獣医学			
連合農学研究科	博士課程	生物生産科学専攻	連合講座	植物生産管理学, 動物生産利用学			
		生物環境科学専攻		環境整備学, 生物環境管理学			
		生物資源科学専攻		生物資源利用学, スマートマテリアル科学, 生物機能制御学			
		岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻					
連合創薬医療情報研究科	博士課程	創薬科学専攻	研究領域	生命分子科学, システム生命工学			
			寄附講座	紅豆杉研究室			
			共同研究講座	多段階重合発酵機能性・天然物機能性共同研究講座(株式会社日本自然発酵)			
		医療情報学専攻	研究領域	生命情報, 生体制御			

## ■ 図書館

### 蔵書数

2020年4月1日現在

区分	図書(冊)			雑誌(種)		
	和書	洋書	計	和雑誌	洋雑誌	計
図書館	531,434	218,133	749,567	9,718	3,877	13,595
医学図書館	82,151	86,347	168,498	1,523	1,805	3,328

ElsevierやSpringer等の電子ジャーナル約7,000タイトル、ネットライブラリー等の電子ブック約7,600タイトル、ScopusやSciFinderScholar(Academic)等のデータベースを導入している。



受付カウンター 入館ゲート

### 開館時間・休館日

区分	月～金曜日	土曜日	日、祝日(試験期間のみ)	休館日		
図書館	9:00～21:30*1)	10:00～18:00	10:00～18:00	日曜日、祝日*2)	夏季一斉休業日(8.13～14) 年末年始(12.28～1.4)	学休期間の一部土曜日
医学図書館	8:30～20:00*1)	10:00～18:00		日曜日、祝日	夏季一斉休業日(8.13～14) 年末年始(12.28～1.4)	

備考 休館日若しくは閉館時間を変更する場合がある。 \*1) 一部平日に短時間開館あり(開館予定表は図書館ホームページにて)。 \*2) 試験期間を除く。

### 利用状況(2019年度)

区分	蔵書スペース他 ラーニング・commons *1)	教職員	学生	学外者	計
		図書館	6,266	145,571	2,929
入館者数(人)	医学図書館	5,567	33,748	3,654	42,969
	計				220,212
貸出冊数(冊)	図書館	4,544	37,916	695	43,155
	医学図書館	968	9,530	13	10,511
	計	5,512	47,446	708	53,666
文献複写数(件)	図書館	2,495	780	3,275	
	医学図書館	1,138	1,702	2,840	
	計	3,633	2,482	6,115	

備考 開館日数 図書館：271日、医学図書館：282日

\*1) 移動可能な机・椅子、無線LAN等を備え、グループ学習が可能な学習支援の場



本館

## ■ アーカイブ・コア

アーカイブ・コアは岐阜大学創立70周年記念事業として図書館内に整備され、「PRAETER(プラエテール)」と「FUTURUM(フトゥールム)」の2つのゾーンから構成されている。

### 収蔵資料の例

教育学部 所蔵資料	世界最古級の印刷物「百万塔」、加納藩小川家甲冑
応用生物科学部 所蔵資料	カイコの解剖模型、農作物害虫図
工学部 所蔵資料	プラズマ CVD装置、フレキシブル太陽電池
医学部・同附属病院 所蔵資料	教育解剖図(丹下年男作)、日本画(守屋 多々志作)
地域科学部 所蔵資料	自治体史、各種行政資料、郷土資料 (所蔵場所：地域資料・情報センター)

備考 上記の他、岐阜県内出土の考古資料等の古文書(90,000点超)、写真や絵画等の美術作品(約60点)、剥製や卵等の標本(約1,100点)、人体解剖図(約470点)を保管している。



PRAETER内 剥製標本群

## ■ 医学部附属病院

医学部附属病院は、県下唯一の大学医学部附属病院、特定機能病院として先進・高度医療を担い、がん・心筋梗塞・脳卒中・糖尿病・精神疾患の5疾病及び救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療の5事業に積極的に取り組んでおり、難病疾患やがん、肝炎、AIDS等の診療拠点病院に指定されている。2018年3月には、新たに原子力災害拠点病院に、2018年5月には、岐阜県アレルギー疾患拠点病院に指定された。この他、高度救命救急センター、一次脳卒中センターにも指定されている。

2018年10月にがんゲノム医療連携拠点病院に指定された。がんセンターでは、「がんゲノム診療部門」において、遺伝性がん治療、臨床的研究的知見を含めた新規のがん治療の開発、ゲノム疾患・遺伝子診療センターと連携し、遺伝性がん治療に取り組むなど最先端の治療をいち早く導入している。また、地域におけるがんゲノム医療の機能分化推進・専門医の育成のため、県下の地域がん診療連携拠点病院とネットワークを作り都道府県がん診療連携拠点病院としてがん診療をけん引している。

本院は「社会と医療のニーズに応える病院」を目指しており、特に安心・安全を基盤とした特定機能病院として、より先進的な医療を提供すると同時に地域に密着した病院としての役割を果たすべく、医療安全、臨床研究の推進、国際的にも活躍できる人材育成、よりよい医療の提供に取り組んでいる。



医学部附属病院

### 患者数 (2019年度)

入院	患者延数	203,417人	外来	初診延患者数	18,049人
	1日平均患者数	555.78人		再診延患者数	335,862人
	病床稼働率	90.5%		計	353,911人
	入院稼働日数	366日		一日平均患者数	1,462.44人
				外来診療日数	242日

### 診療科及び病床数

2020年4月1日現在

区分	病床数	区分	病床数
第1内科	63	耳鼻咽喉科	29
血液内科		形成外科	
第2内科	51	皮膚科	13
第3内科	21	泌尿器科	21
脳神経内科	19	精神科	37
総合内科	12	小児科	28
心臓血管外科	103	放射線科	1
呼吸器外科		麻酔科疼痛治療科	1
消化器外科		歯科口腔外科	8
乳腺外科	32	高次救命治療センター	29
産科婦人科		ICU	6
整形外科	49	新生児集中治療部	12
脳神経外科	38	共通	26
眼科	14	計	613

### 患者数の推移



中央診療施設等		
検査部	医療連携センター	オートプシー・イメージングセンター
手術部	生体支援センター	脳卒中センター
放射線部	がんセンター	ゲノム疾患・遺伝子診療センター
材料部	エイズ対策推進センター	ベッドコントロールセンター
輸血部	肝疾患診療支援センター	術前管理センター
病理部	リハビリテーション部	入院センター
総合診療部	周産期・生殖医療センター	呼吸器センター
医療情報部	医療機器センター	アレルギーセンター
光学医療診療部	高次画像診断センター	国際医療センター
高次救命治療センター	新生児集中治療部	栄養管理室

医療安全管理室
薬剤部
看護部
診療録管理室
医師育成推進センター
看護師特定行為研修センター
内視鏡外科手術トレーニングセンター
先端医療・臨床研究推進センター
臨床倫理室
さわやかサービス推進室

## ■ 応用生物科学部附属動物病院

応用生物科学部附属動物病院は、獣医学の教育・研究・診療を実践する中部地区で唯一の施設である。近年の診療件数の増加に対応するため、またペットオーナーの求める高度な動物医療を提供するため、2010年4月に新病棟とリニアック棟、2012年4月にMRI棟を増築した。新病棟は個室型の診察室、脳外科手術にも対応できる陽圧手術室、集中治療室などを備え、画像診断装置など最新の医療設備と電子カルテを導入した先進施設である。また、リニアック棟には国立大学では初めてとなる高エネルギー型放射線治療器、MRI棟には磁気共鳴断層装置(MRI)を導入した。本院の特色は、伴侶動物を診療する内科、外科、腫瘍科、麻酔科、神経科と産業動物を診療する産業動物科を設置していることである。内科、外科、腫瘍科、麻酔科、神経科には東海地区をはじめ近畿、北陸地区の個人病院から年間実数約8,000件の症例が紹介されてくる。一方、産業動物科は、岐阜地区における産業動物診療の一翼を担っている。



### 診療科及び病床数

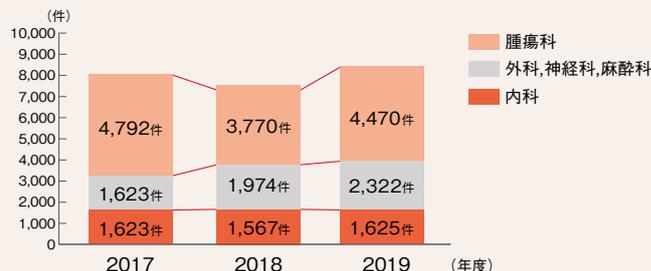
2020年4月1日現在

名称	床面積 (㎡)	主な施設
新病棟	911	1階：診察室(7室)、超音波検査室、処置室、第1検査室、薬室、受付事務室 2階：陽圧手術室、一般手術室(3手術台)、手術準備室、集中治療室、回復室、仮眠室(2室)
リニアック棟・MRI棟	327.55	高エネルギー型放射線治療室、磁気共鳴断層検査室、操作室
本館(1階)	438	内視鏡・腹腔鏡検査室、歯科口腔外科診療室、X線・画像解析室、第2検査室、病院長室・相談室、動物病院事務室
CT棟	47	X線CT撮影室、操作室
動物管理棟	260	動物入院室、供血動物室、医局
合計	1,983.55	

### 動物種類別の診療件数(実数)

年度	伴侶動物(件数)				産業動物(件数)					総計
	犬	猫	その他	計	牛	馬	豚	緬・山羊	計	
2017	6,781	1,243	0	8,024	6	10	10	2	28	8,052
2018	6,056	1,248	4	7,308	2	1	2	1	6	7,314
2019	6,657	1,756	1	8,414	2	1	0	0	3	8,417

### 内科、外科・神経科・麻酔科、腫瘍科の診療件数(実数)の推移



## ■ 医学教育共同利用拠点

### 医学教育開発研究センター

医学教育に貢献できる人材育成と、国内外の医学教育機関との連携・共同研究を推進する全国共同利用施設として2001年に設立された。2010年4月には全国唯一の「医学教育共同利用拠点」として文部科学省から認定され、2020年4月からさらに5年間の拠点継続が承認された。拠点事業として毎年4回(今年度は3回)開催する「医学教育セミナーとワークショップ」は全国規模の教員養成プログラムとして高く評価されている。また、全国の医学部・医療系教育機関でリーダーとなる人材を育成するプログラムを開始し、修了者を「MEDCフェロー／アソシエイト」として認定する制度を開始している。

チューリアル部門では少人数能動型の問題基盤型学習(PBL)の普及・改善に取り組み、バーチャルスキル部門では、模擬患者参加型のコミュニケーション教育・シミュレーション教育の開発に取り組んでいる。プロフェッショナルズ教育、アウトカム基盤型医学教育、コンピュータ支援学習、ポートフォリオ評価システム、国際交流と医療英語教育、医療者教育学(修士課程)と医学教育学(博士課程)の大学院教育にも力を入れている。

[チューリアル部門, バーチャルスキル部門]



チューリアル教育



模擬患者実習



医学教育ワークショップ



スキルスラボ実習

## ■ 共同教育研究施設等



## ■ サテライトキャンパス等

### 岐阜大学サテライトキャンパス【2012年10月設置】

(岐阜市吉野町6丁目31番地 岐阜スカイウイング37 東棟4階)

サテライトキャンパスは、JR岐阜駅に直結しており、講義やゼミ、講演会、研究発表等に使用可能な多目的講義室、学生が自学自習できるラーニングcommons、企業相談等に利用できるミーティングルームを備えている。

本学学生・教職員の他、卒業生、地域の方が利用でき、本学における教育研究の推進、学生の活動、地域貢献、情報発信のための活動拠点である。



岐阜スカイウイング37

01	03
02	04

## 01 流域圏科学研究センター

岐阜大学の環境科学研究の中核として、流域圏における植生系、河川水系、土地地盤系などの多様な自然科学的・人為的事象の解明、および流域圏環境保全・防減災に関する学術研究・技術開発を行うことによって、流域圏の保全と持続的な発展に資する学術研究分野「流域圏科学」を国内外の大学や研究機関、関連コミュニティ、地域社会と連携しながら醸成している。

[森林機能研究部門, 水物質動態研究部門, 高山試験地, 流域水環境リーダー育成プログラム推進室, 共同研究支援室, 地域協働推進]

## 02 地域協学センター

地域志向を持ち、地域から求められ、地域を担うことができる人材を輩出し、地域が抱える課題解決を図るため、地域と協働した活動を推進し、地域社会の活性化に貢献することを目的としている。2013年度に採択された文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」の実施支援機関として設置された。

「次世代地域リーダーの育成」、「地域志向学の推進」及び「多様な人々が集い議論する『場』(ぎふフューチャーセンター)の形成」を3つの柱として地域志向の取組み(岐阜大学COC事業)を推進しているほか、2015年度には文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)」にも採択され、地域に定着して地域産業の活性化に貢献できる人材の育成にも取り組んでいる。

## 03 グローカル推進機構 日本語・日本文化教育センター

外国人留学生への日本語・日本文化に関する教育、日本人学生への国際理解に関する教育を行っている。さらに、全学共通教育における日本人学生と外国人留学生を対象とした異文化交流に関する授業も実施し、留学生交流を中心に大学の国際化に寄与している。

またセンターには、「交流ラウンジ」があり、ラウンジでは外国人留学生と日本人学生との交流や学習、チューターによる学習の支援、留学等の情報収集の場として多様な活動を通し、本学の国際交流の促進を図っている。

## 04 保健管理センター

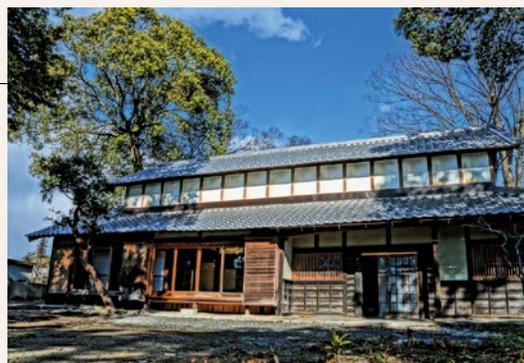
学生及び職員の健康増進、ならびに学生の安全衛生環境保持・改善を図るために、学内の保健計画の立案・実践について指導援助している。学生の健康診断の実施とそれに基づく生涯の健康を守るための保健指導、就学支援、救急処置、健康相談、健康啓発活動と、その業務は多彩である。

また、学生の健康に関する調査・研究を行い、学内の施策提言につなげているほか、県内の各大学と協働し、その中核として大学生の健康管理に関する研究会を主催し、地域貢献を担っている。

### 岐阜大学旧早野邸セミナーハウス【2013年4月設置】 (大垣市昼飯町1777)

旧中山道沿いの大垣市昼飯町にある本学第7代学長早野三郎氏ゆかりの家を活用した本学の活動拠点である。

授業、講演等に使用可能なセミナー室、地域の歴史と文化に係る資料や学生の制作物等を展示する展示室、フィールドワークの活動拠点として利用できるミーティング室を備えている。



旧早野邸セミナーハウス